

山下昌美

その発想と行動力

華僑ビジネス

中公文庫



中公文庫

か きょう
華僑 ビジネス その^{はつそつ}発想と^{こうどうりき}行動力

定価はカバーに表示してあります。

1997年 6 月 3 日印刷

1997年 6 月18日発行

著 者 やました まさ み
山下昌美

発行者 笠松 巖

発行所 中央公論社 〒104 東京都中央区京橋 2-8-7 振替 00120-4-34
TEL 03-3563-1431(販売部) 03-3563-3664(編集部)

©1997 CHUOKORON-SHA, INC. / Masami Yamashita

本文・カバー印刷 三晃印刷 用紙 王子製紙 製本 小泉製本

ISBN4-12-202876-0 C1195

Printed in Japan

乱丁本・落丁本は小社販売部宛お送り下さい。送料小社負担にてお取り替えいたします。

中公文庫

華僑ビジネス

その発想と行動力

山下昌美



中央公論社

目次

はじめに 11

1 中国人の国民性と生活信条 14

人生観のX軸とY軸 人間性の五つの特徴

生活信条を支える諦念と自尊 徹底した現実主

義 過去のことを判断基準とする 自己の主

張を前面に出す 「三面性格」を知ろう 三

本の刀で人生を拓く 君・臣・官・民との係わ

り方 政府や官吏を信用せず

2 華僑商人の考え方・生き様 51

中国商法とユダヤ商法 売る商法より買わせる
商法 郷土の復活と同族結集の意識 華僑商
人の活動と仕組み 無尽講 活力の源泉とし
ての「幫」^{ガング} 経営のバックボーン「商人の宝」
華僑商人の倫理と宗教

3 華僑商法の発想 85

「開源節流」の知恵 華僑商法の原点 華僑
商法の要諦 子供も商売の戦力 交際術のノ
ウハウ 信頼関係のタテマエとホンネ 取引
から「甘え」を消除

4 華僑商法と兵法——「孫子」に探る戦略と理念……………120

兵とは勝つこととみつれたり 基本問題の五本
柱 計画で勝つものは実戦でも勝つ 正面作
戦と奇襲作戦 戦に臨んでは敵を知れ

5 孤独なリーダーのために

——「韓非子」にみる対決の論理……………139

弱肉強食の乱世に生きる ヒトの本性は「悪」
とみつけたり 情報を集め選別する 主従の
関係はドライなり トップの聡明を塞ぐ五奸計
トップをまどわす姦悪八種 トップ自身が陥る
おとし穴 トップを操る巧言・令色 トップ
敵守の三カ条 トップの安泰七カ条 トップ
の自己破滅六カ条 トップの自衛七術・六微

6 中国型経営と日本型経営………

165

経営方式の相違をみる立場　言語構造のちがい
思考方式のちがい　バランス意識のちがい
血統に対する意識のちがい　日本人の三つの欠
点　資産志向か収益志向か　行動様式のちがい
い　経営スタイルのちがい　管理技術のちがい
い　幹部を育てる基本信念　幹部教育九原則

7 中国人の処世の言葉と知恵………

200

用人不疑、疑人不用　避実擊虚　前事不忘、
後事之師　不打不成相識　清官無垢、清水無
魚　老天餓不死人　不怕慢只怕站　養兵千
日、用兵一時　興一利不如除一害　打人不打
臉、罵人別揭短　唾面自乾、百忍成金　大富

由命、小富由勤 有借有還、再借不難

8 関西商法 216

のれん 関西経済を支える原動力 大阪商法

の背景 大阪商法の特徴

あとがき 241

華僑ビジネス——その発想と行動力

はじめに

バブル経済崩壊後のわが国経済は低迷状態のままに推移し、今なお景気回復の兆しがみえない状況下にある。

しかし、個別の企業経営にあつて、経営不振のせいを景気不況のみに押しつけても意味がない。

企業経営は生き物であり、ゴーイング・コンサーンである。このことは、生き残り、勝ち残るといったサバイバルゲームの勝者でなければならないのである。そのためには、いつまでも不運をなげき、不幸や環境の悪化に涙するのではなく、進んでその打撃や解決策の糸口をさぐり、活発に、積極的に、経営戦略、経営戦術として取り組み実行していくべきである。

現在のような社会経済情勢下での企業経営の継続発展は大変困難で、不毛の時代といえるかもしれないが、しかし反面、このような時代こそビジネス成功のチャンスが

必ずあり、それは発想の転換や、考え方、行い方の工夫等、身近なところにその成功の材料は案外横たわっているように思える。

さて、不況下に強い経営として華僑の経営と老舗の経営があげられよう。この両者は共通して苦しい環境を自力で切り開き、長い伝統の上に革新を求め、常に顧客志向の姿勢が逆境下の経営モデルとして評価される所以であろう。

最近のわが国の商売やビジネスの風潮は軽薄化し、きれいごとで終始している感が強いが、本来の商売やビジネスは、どろ臭く、ねばりっこく、そしてあくの強いものであることを、本書を通してくみとり、商売やビジネスのきびしさ、むつかしさ、一筋縄ではいかぬ厄介なものであるといったビジネスの真髄を十分に理解、マスターすべきである。

また本書は、私自身の感じる「中国人、中国商人論」の一端でもある。

かれらに接するたびに、かれらの言動が、全て商人、ビジネスマンとしての言動にない、かれらのもつ「生活力」「忍耐力」「行動力」「発想力」等の諸能力は日本人よりも優れており、また中国商人の「したたかさ」「ねばり強さ」といったあくの強さに加えて「合理性」「営利追求性」の重視は、現代の日本のビジネスマンにとって

欠けているところである。ぜひこのことも本書を通して認識されたい。

1 中国人の国民性と生活信条

人生観のX軸とY軸

思想は人間の産みだしたものであり、人間はまた歴史の中に存在する。思想について考える場合も歴史的なあとづけでみていく必要がある。中国は五千年にわたる歴史的な存在であり、この歴史的な存在の中で中国人の思想や人生観および生活信条が形成されていったのである。また、この歴史的な存在の中には、地理的・気候的環境条件も含まれ、これらの自然環境条件の人間の思想や人生観に与える影響も無視できない事実である。われわれがもつ中国の自然についての認識は、ただ広大であるといった初歩的認識でしかないようである。

中国は昔から揚子江や黄河が氾濫して国土が常に荒らされ、漢民族にとっての歴史的な課題はこの治水と北方民族の侵入を防ぐことの二つであったといえる。万里の長城の築城が後者の対策であったことは周知のとおりである。中国での洪水は平原の中をノロノロとやってくるのであって、それをみてから中国人は家財道具を片づけ、車にのせて避難する。それで十分間にあうのである。そのかわりひとたび大水になると半年たつても一年たつても水がひかないといった状態となる。これに比べると、日本の国土は山が海に迫り、文字どおり台風一過で、洪水になっても水がどっと流れて海へ出てしまう。ぐずぐずしていると大変な目にあうが、翌日にはケロリとした快晴が訪れるのである。中国の大水は要するに人為的・人工的な感じがなく、全く荒削りのむきだしの自然であり、しかも、そのスケールは大きいのである。そこに何十代、何百代と生活するとき、人々の考え方や思想に影響をうけることはまぬかれない。

中国人の気が長いのはこうした環境にならされているからである。なぜなら、あせったところでどうなるものでもない。また、怒ったところで水がひくわけではない。時をまたねばしかたがないのである。

いま一つ事例をあげると、日本は海洋国家でまわりが海に囲まれている。したがっ